



令和8年4月10日  
道路局 高速道路課

## 高速道路会社への事業許可について

本日、別紙の事業について、道路整備特別措置法第3条に基づき、国土交通大臣より高速道路会社へ事業許可を行いましたのでお知らせします。

<問い合わせ先>

道路局 高速道路課 企画専門官 米村（内線：38308）

企画専門官 大谷（内線：38352）

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8500

## ① 有料道路事業の導入

事業名	内容	事業主体
一般国道57号 なかきゅうしゅうおうだん 中九州横断道路	おおづにし しもすずりかわ 大津西IC～下硯川IC	NEXCO 西日本

## ② 地域活性化インターチェンジの新規事業化

事業名	内容	事業主体	
一般国道468号 しゅとけんちゅうおうれんらくじどうしゃどう 首都圏中央連絡自動車道	けんおうなりた たこ 圏央成田IC～多古IC間	なりたくこうしゅうへん 成田空港周辺IC (仮称) <sup>※1</sup>	NEXCO 東日本 千葉県

※1 インターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

# 一般国57号中九州横断道路(大津西IC~下硯川IC)[有料道路事業の新規導入]



凡例	
NEXCO管理	
NEXCO以外管理	
事業中	

※大津IC~下硯川ICは直轄で事業中。



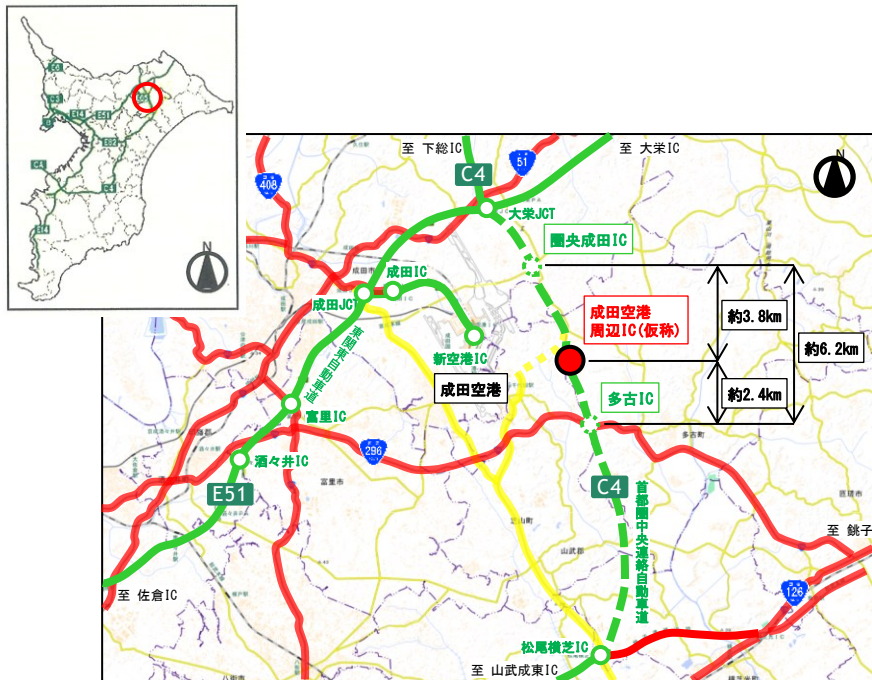
# 地域活性化インターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

## 首都圏中央連絡自動車道 成田空港周辺IC(仮称)

### <概要>

- 路線名 : 首都圏中央連絡自動車道  
(圏央成田IC～多古IC間)
- 設置場所 : 千葉県香取郡多古町
- 接続形式 : 本線直結型
- 形式 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

### <位置図>



## 整備効果 圏央道へのアクセス向上・国際競争力の強化

- ・C滑走路の新設や新貨物地区の整備といった「第2の開港プロジェクト」が進む成田空港は国際貨物の取扱量が全国1位。
- ・圏央道の全線開通により、東京湾アクアラインと圏央道が一体となり、成田空港と羽田空港をつなぐ新たな連携軸を形成、東海圏・神奈川や東北・北関東など広域的なアクセスが向上する。
- ・成田空港周辺IC(仮称)の整備により、圏央道へのアクセス向上・物流効率化が図られ、国際競争力の強化に繋がる。

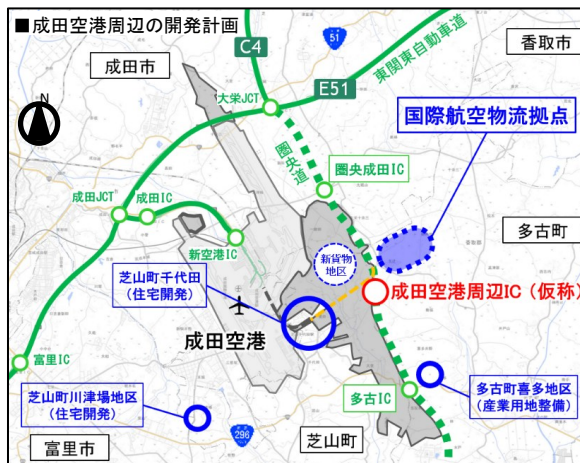


出典: 成田空港「第2の開港」を起点とするアクションパッケージを加工

出典: NAA提供図面を加工

## 整備効果 まちづくりの支援・成田空港周辺道路の時間短縮

- ・成田空港周辺IC(仮称)の整備により、広域的な交通の利便性が向上し、定住人口の増加や企業立地の促進・雇用創出により、地域の活性化が図られる。
- ・成田空港周辺IC(仮称)の整備により、新貨物地区から圏央道へのアクセス時間が9分短縮されるなど、走行時間の短縮が図られる。



出典: 国土地理院地図

出典: 国土地理院地図

出典: 国土地理院地図